

神奈川県立武山支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 武山支援学校 第4回 学校運営協議会
開催日時	令和8年2月24日(火) 9:30~11:30
開催場所	武山支援学校 応接室
出席者	学校運営協議会委員 8名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度 第4回たけやま学校運営協議会開催要項</li> <li>・令和7年度 学校評価アンケート(保護者向け、教職員向け)</li> <li>・プレゼンテーション資料</li> <li>・令和7年度 各グループ年間計画</li> <li>・令和7年度 学校評価報告書</li> <li>・武山びより、進路・相談だより</li> </ul>
議事録	<p>1. 会長 挨拶</p> <p>校長のリーダーシップと委員の協力により、様々な事が進んだと感じている 今回は、年間のまとめと、武山支援学校の未来について検討できると良い</p> <p>2. 各部会報告</p> <p>(1) 切れ目ない支援部会 (支援グループリーダー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前から卒業後までの繋がりについて、その課題やより良く繋がるための方策について情報共有をした</li> <li>・保護者は専門的な教育か地域で育てるか悩みや迷いがあり、地域の学校も受け入れに不安がある</li> <li>・巡回相談は、地域の学校への繋ぎ役としての役割を担っており、好事例の紹介等も取り入れながら今後も地域の学校をサポートしていく</li> <li>・サポートブックの活用については、本校では児童生徒が様々な市町から通学しているため、必要な部分をコピーして活用する事を検討する</li> </ul> <p>(2) 地域防災部会 (副校長)</p> <p>第1回:武山支援学校の学校防災の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「武山支援学校防災活動マニュアル」について説明し、避難所の耐震性や防災食について意見をいただいた</li> <li>・令和6年に横須賀市と福祉避難所の協定を結んだが、今後も市と県の提携、連携が必要である</li> </ul> <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武山地区震災時運営訓練の報告(武山中、武山小、富士見小)として反省や意見交換を実施した</li> <li>・地域住民で避難所を立ち上げる必要性や、顔の見える関係の重要性を実感した等の意見があった</li> <li>・武山支援学校で作成した「避難所初動対応及び福祉避難所運営マニュアル」を紹介した</li> </ul> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回相談は、昨年度と比べて回数はどのような状況か →正確な数字は手持ち資料にないが、今年度もかなりの回数の巡回に行っている</li> <li>・巡回相談の流れや受け方、相談内容について詳細を知りたい →対象の子どもについて相談を受けるケースや、学校全体の対応にアドバイスする場合もある 学校からの依頼が基本であるが、教育委員会からの依頼で同行することもある</li> <li>・センター的機能への評価は返ってくるのか →年度末にアンケートを実施しており、その結果や意見等をいただいている</li> </ul> <p>3. 年間評価について</p> <p>(1) 年間評価と学校評価アンケートについて(副校長)※/パワーポイントと資料により説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 働き方改革とウェルビーイング:日常の実施できるところから取り組んでいる</li> <li>② 校内のインクルーシブな学びの実現:知肢統一の取組の紹介(校外学習や給食等の時間)</li> <li>③ TMAPの実現:パワーポイントの写真で事例紹介(パンマグネットの販売や交流学习、分教室の革製品販売等)</li> <li>④ 一人一台端末を活用した授業:今年度全てのクラスで大型電子黒板が導入されたが、評価としては5割程度</li> <li>⑤ 開校50周年記念:保護者の評価が5割程度に留まったのは、アンケート実施時期が早かったためと推測される</li> </ol> <p>(2) 各グループリーダーより補足説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育、総務、安全、支援の各グループのリーダーより年間評価の資料について補足説明</li> </ul> <p>(3) 委員より意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武山支援学校が動いている印象を受け、関わりやすい学校になっている</li> <li>・地域に出ることを念頭に活動していて、外部と繋がっているのが良い</li> <li>・その取組「なぜ必要か」が分かりにくく、広まっていないと感じる</li> <li>・新しい取組もあり聞いていて今後が楽しみである</li> <li>・学校の様子が分からない時もあり、アンケートの回答に迷うことがある</li> <li>・就職後を見ていると、基礎的な生活力やストレス耐性等の積み重ねが大切で、その様な機会が学校であるとよい</li> <li>・移動支援やバスが増えているので人手が足りているのか心配</li> <li>・学校が変わったという声も聴いており、今後も様々な取組続けて欲しい</li> <li>・武山支援出身の生徒は、基礎が出来ているのを感じている</li> <li>・学校の取組を保護者に分かってもらうためには、実のある改善をお互いの負担を増やさずできるようにしたい</li> </ul> <p>4. 学校見学</p> <p>5. 事務連絡 (副校長)</p> <p>6. 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きインクルーシブな学校の開発に取り組み、共生社会を推進していく</li> <li>・センター的機能については、回数だけでなく、質的な観点での効果にも着目して引き続き取り組む</li> </ul>